



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

2017年

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

R.I 会長 イアン H. S. ライズリー



ロータリー:
変化をもたらす

善意というものがなければ
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 前原 勝 幹事 園田 誠

クラブ会報・情報委員会

平岩千鶴子・木村洋一・山崎一順・牛腸章

12月4日号

第3050回例会

(11月27日(月)第4例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. ロータリー情報アワー
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 卓 話
「桐生新町の母子手帳」
郷土史家 森村 秀生 様
9. 点 鐘

ようこそビジター

<卓 話 者> 郷土史家 森村 秀生 様

ロータリー情報アワー

会員研修委員 吉田 栄佐 君
ロータリー情報アワーの時間ですが、私は今日が初めてでございますので、大変緊張しております。
11月は、ロータリー財団月間という事でございますので、この事について話をさせていただきます。
ロータリー財団は、寄付を受取ロータリークラブや地区の人的及び教育的活動でロータリー財団が承認したものに補助金を提供する非営利法人と定義されています。ロータリー財団は、1917年アトランタで開催された国際大会において、アーチ・C・クランフが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよい事をするために基金をつくらう」と提案した事に始まります。同年、26ドル50セントの最初の寄付が贈られて以来、財団に総額10億ドル以上の寄付が寄せられており、近年の年次寄付額は、毎年1億ドルを超えており、現在まで100万人以上がポールハリスフェローに認定されています。ロータリー財団の標語は、「世界でよい事をしよう」財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。ロータリー財団の6つの重点分野は、「平和と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」です。ロータリー財団の優先項目としては、①永久にポリオを撲滅させる②ロータリー財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付を向上させる③財団の補助金と6つの重点分野を通じてロータリーの人的奉仕の質と影響を高める④ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこ

れまでの実績に対するイメージと認識を高める。
地区目標として、ロータリー財団寄付150ドル、ポリオ寄付30ドル、米山寄付16,000円となっております。
ロータリー財団の活動は、寄付を集める活動と寄付金を使う活動があり、集める活動には①年次寄付金②恒久基金③使途指定寄付があり、使う活動には①地区補助金②グローバル補助金があります。
ロータリー財団の寄付実績は、ロータリー財団総額で305億円、年次寄付140億、恒久基金28億、ポリオ84億、国別の一人あたりの年次寄付は、台湾216ドル、韓国182ドル、カナダ168ドル、日本134ドル、アメリカ124ドル、オーストラリア123ドル、イタリア85ドル、ドイツ83ドル、インド66ドルとなっております。
それでは、2840地区はと申しますと、年次寄付3943万円、一人当たり20,590円、恒久基金161万5千円、ポリオ他4,453万円、一人当たり2,303円です。寄付総額は、4,595万円、一人当たり23,995円となっております。
クラブ・ロータリー財団の役割は、①クラブ財団目標を達成する②財団に関して会員に理解してもらう③財団の補助金とプログラムに参加すると同時に財団を財政的にも支援するようクラブ会員に奨励する④地区及びロータリー財団管理委員会の目標クラブ会員に伝える⑤財団補助金資金の適切な管理を徹底させる。
ロータリー財団の「未来の夢計画」による補助金制度は、会員による寄付で運営されており、3年度にDDF地区活動資金として地区に還元されています。会員の皆様には、より一層の資金支援をしていただくようお願い申し上げます。ありがとうございました。

会長の時間

《報告》

- 11/13 群馬大学理工学部外国人留学生懇談会
会長・飯塚国際奉仕委員長 出席
 - 11/16 桐生第一高校IAC表敬訪問
会長・幹事・大島青少年奉仕委員長・朝倉
青少年奉仕副委員長・飯塚青少年奉仕委員
 - 11/18 地区指導者育成セミナー 幹事出席
RI会長代理歓迎晩餐会
会長・幹事・会長E 出席
 - 11/19 地区大会 高崎アリーナにて 全員登録
懇親会 ホテルトロホリタン高崎
 - 11/20 11/19(日)地区大会に振替の為、休会
 - 11/22 未来の夢計画(贈呈式)桐生社会福祉協議会
 - 11/23 ゴルフコンペ 赤城CC
 - 11/25 RLIパートⅢ 木村副幹事 出席
 - 11/27 例会終了後、クラブ協議会
- 《予定》
- 11/30 未来企画委員会家庭集会
 - 12/2 エヴァン君 柴崎家→木村家へ(～3/2)
 - 12/4 年次総会

幹事報告

- 国際ロータリーより、ロータリーレートのご案内です。
12月＝112円です。
- 米山奨学奨学会より「ハイハイよねやま」が届いております。
- 歌津地区復興支援の会一燈より「一燈」が届いております。
- 日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
- 群馬大学理工学部長より、先日の理工学部外国人留学生との懇談会のお礼状が届いております。
- 藤岡 RC より「第 18 回少年少女合唱団群馬県フェスティバル」招待状が届いております。
- 桐生南・桐生西・桐生赤城の各RCより週報到着。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成 29 年 11 月 27 日)

総員 65 名:出席 42 名

平成 29 年 11 月 6 日例会修正出席率:84.13%

平成 29 年 11 月 13 日例会修正出席率:77.78%

ニコニコボックス

前原勝君…未来の夢計画の社会福祉協議会への遊具贈呈が皆様のお陰で無事に終了しました/疋田博之君…柳会員に地区大会ではお世話になりました/岡部信一郎君…えびす講無事終了しました。ありがとうございました/高橋弘史君…ゴルフコンペでベスト・優勝させていただきました。ありがとうございました/松田秀夫君…牛腸さんにゴルフバックをありがとうございました。大事に使わせて頂きます/荻野克徳君…誕生日祝/荻野克徳君…結婚祝/吉田栄佐君、坪井良廣君、野間義弘君、水越稔幸君、後藤圭一君、松田秀夫君、大島千賀子さん、北川貴久君、小林康人君、荻野克徳君、塚越隆史君…写真戴きました。

卓 話



「桐生新町の母子手帳」

郷土史家 森村 秀生 様

私の本籍は、群馬県桐生市本町六丁目一番地です。現在の森村珈琲店のある所で、父も同地で育ちました、森村珈琲店が本家という事です。六丁目一番地は、桐生新町にとって重要な地点で、地域の先輩より、古の言い伝えを幾つか聞いていましたが、まさか自分が新町の研究を始めるとは夢にも思いませんでしたので、もう少し真面目に聞いておけば良かったと反省しています。しかしながら、断片的で、あやふやな記憶ではありますが、それが私の研究の原動力となっております。子供の頃、聞いた意味不明な、おとぎ話の様な言えが無ければ、私の研究は存在してないと思っています。

現在の歴史研究は極力、想像力を排除しようとしてつまらない方に向かっているのではとおもいます。私は、大学教授に成りたくて研究している訳ではありません。私達が忘れた記憶を取り戻したいと思う気持ちからです。桐生新町の忘れた記憶は、桐生の文化そのものだと思うからです。

その昔話に

- ① 新川堀は新町と共に造られた。
 - ② 新町のお稲荷さんは全てが常木稲荷の分社である。
 - ③ 新町は六丁目を起点に造られた。
 - ④ 常木稲荷の参道は天神様に向かう。
 - ⑤ 祭りは常木稲荷より天神様に向かう。
 - ⑥ 常木稲荷は桐生新町の下の子守神である。
- という話を聞きました……

さて、本題に入ります。私がこの研究を始めたのは、平成十六年の頃からです。きっかけは、二丁目の玉上薬局の御主人との世間話の最中に、「やけにこの辺にはお稲荷さんが多いんですよ。何故だか調べてみませんか」の一言でした。誰も研究していないお稲荷さん、こいつは暇つぶしには最適とお受けした次第です。今にして思えばラッキーな出会いでした。

誰も研究していないという事は、文献調査などでは解決出来ないわけで、一人で始めろという事です。先ずはお稲荷さんが何処にあるのか、所在地の調査に取り掛かりました。

住宅地図を片手に、一軒一軒くまなく巡り、お稲荷さんを発見すればマーカーを地図に置き一丁目から。六丁目まで二ヶ月間くまなく調査しました。

これらの調査から ① 伝来が明確な家運隆盛を願うお稲荷さん② 伝来不明・意味不明のお稲荷さん二種類のお稲荷さんが、出て来ました。

①のお稲荷さんの方は家運隆盛を願うお稲荷さんとして、先祖が祭ったという事で解決しました。問題は②のお稲荷さんです。住宅地図を整理し、②の古い稲荷をさらに調べると

- ②-1 新町の輪郭線に沿って存在するお稲荷
- ②-2 地割の内側に点在するお稲荷

以上の二種類が見られます。さらに法則性が見えます。何物かの意味に沿った配列を見ることができます。

気が付いたことですが、②--2のお稲荷さんは皆、町の下方に向住んでる人の不便な所であっても堂々と存在しています。さらに、土台に赤城の小松石が使われています。

これ等のお稲荷さんはいつ頃設置されたのでしょうか。それを示す資料など何処にも存在していません。所有者の方に聞いても古くからここに有るとしか答えてくれません。そこで、この様に考察しました。直線上に稲荷を配置されているという事は何者かの指示が存在した。屋ごみになれば直線状に配置する事は困難である。以上の事から、これらの稲荷は、新町を作成したと同時期にまだ家が建つ前に、何者かが何らかの理由で設置したと考えました。さらに考えを進めてみました。

②---1を整理する為に、新たに別の地図上に稲荷を移動しておりましたら、複数の稲荷は桐生新町の外郭に沿って等間隔に置かれている事に気が付きました。間隔は82m即ち45間です。あたかも目印のように稲荷を置いてあるようです。

この見解が正しければ、桐生新町の長さは、45間の倍数上に創られたという事になります。桐生新町は、天神様から、新川堀までと一般的に言われているので、これに当てはめてみました。すると、上は天神様の前に昔存在した神橋のところがピタリであり、下は昔新町と、がけ下の境に存在したと言われる、木戸のところが、これまたピタリなのです。

新町の町幅は新町のふちに有る、矢野さんの稲荷と向かいの猫稲荷との間を、直接測り、182m----100間と確認出来ました。

実は、②---1を整理する為に別の地図に稲荷を移動していた時、各町内の区切りの所に立派なお稲荷様が、置かれている事に気が付きました。その位置は373mごとです。150間という事になります。ですから、 $150 \times 6 = 900$ となります。

人々の暮らしの基準、行政区画は、6町内は等分に創られた町の様です。しかし、六丁目だけは寺があるため、特別に大きく区画されその分を五丁目と、四丁目が割を食う形になっているようです。

以上の事から、桐生新町の大きさは、長さ900間、幅100間、面積 九万坪

桐生新町の行政区画として 150間 × 6町内。東京ドーム(一万四千坪)の約七個分です。これが桐生新町の母子手帳の第一頁目に記載された、記述です。

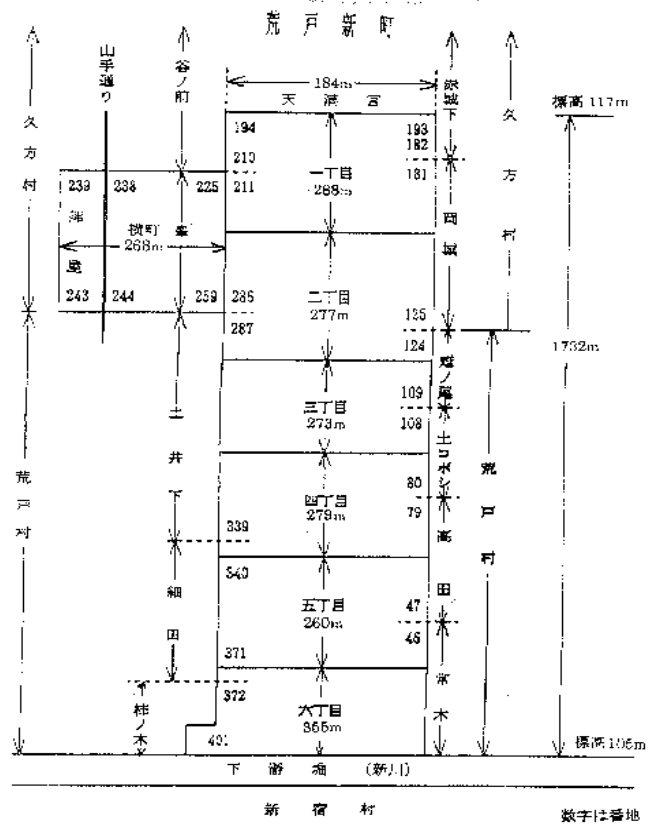
自分の足と、自分らの洞察で、以上の結果を導き出した訳ですが果して、過ちを冒してないか、人間は見たいものを見ることが出来る生き物だそうです。

自分も見たいものを見てしまったかもしれない。これ等の証明が成された時にお伝えしようと、思っていました。いつかその機会が来ることを願っていました。

数年して、嘗て巻尺を持って実際に測り新町を割り出した人がいたと聞きました。その方は、堀越靖久先生であるとの事でした。

全く異なった方法で成された研究結果と、私の稲荷研究より導き出された結果が重なれば、私の研究は、証明出来たこととなります。

荒戸新町「字」推定図



本日のお食事



志多美屋 ソースかつ丼・サラダ

本日のお花



【例会予告】

12月11日(月) ◆ 卓話
群馬県文化財調査員
平塚 貞作 様
◆ 食事 大龍

12月18日(月) 家族合同忘年クリスマス会
点鐘:午後6時30分
場所:桐生プリオパレス

12月25日(月) 休会